

せいりょう原稿

衆議院議員 伊藤信太郎

昔から食べ物への恨みは恐ろしいというが、それ以上に恐ろしいのが選挙の恨みである。地方選挙では政党の違いもさることながら、地縁、血縁、政治縁、個人的感情が非常に重要となる。議席や首長の席を巡って、それぞれご縁やご恩のある方が複数立たれた場合、その対応は大変難しい。各陣営からは、やんやの応援要請を受ける。また、あつちはけっして応援してくれるなという要請を受けることもある。応援してくれないなら次の総選挙では対立候補を押しと脅かされる場合もある。また知事、市長、町長、村長、県議、市議、町議、村議の支持グループが国政選挙の支持グループと非常に複雑に絡まっていて敵味方をそうすばっと峻別できるものではない。統一地方選の応援で頭を悩ませるのは正にこの点である。こんな時小生は、自民党公認・推薦候補第一ということに錦の御旗に応援の優先順位を決めているが、何か割り切れない気持ちを抱いているのは私だけではあるまい。

(党新聞局次長)